

第2章 芸術・文化あふれる魅力あるまち

■門司港アートの推進

関門海峡をはじめとした美しい自然景観や独特の地域風土に惹かれ、数多くの芸術家・工芸家が門司港を中心に創作活動を行っています。また、西海岸地区にある松永文庫は映画の分野で全国的に注目を集めています。

このような地域特性を踏まえ、芸術・文化活動を支援することで、門司区のイメージアップ、文化振興等を図ります。

<門司港美術工芸研究所>

SDGs ゴール番号 4.11

「アーティストが集うまち・門司」をキャッチフレーズに、平成 14 年 4 月に門司港アート村を開村し、これまで芸術家・工芸家またはそれらを目指す人に創作活動の場を提供してきました。

この実績を踏まえ、平成 23 年度からは「門司港美術工芸研究所」へと移行し、内容の充実を図りました。今後も本市の芸術・文化を担う専門家の育成のための運営支援を行ってまいります。

担当：都市ブランド創造局文化企画課 TEL 582-2391
問合せ先：門司港美術工芸研究所 TEL 322-1235

<松永文庫>

SDGs ゴール番号 8.11

故松永武氏が門司区で開設していた私設の資料館の収蔵資料を、平成 21 年に市に寄贈していただき誕生しました。「レトロの街の映画・芸能資料館」として映画・演劇関係のポスター・パンフレット類を中心に、6 万点以上の資料を収蔵しています。平成 28 年 5 月には、貴重な資料を多数収蔵しているとして、日本映画批評家大賞「特別賞」を受賞し、全国から注目を集めています。

常設展示とあわせて、テーマを決めて年数回の企画展も開催しており、「映画の街・北九州」を PR していく上でも重要な施設です。



担当：都市ブランド創造局 MICE・エンターテインメント課 TEL 551-8152
問合せ先：松永文庫 TEL 331-8013

<クラフトデザインの振興>

門司区ではクラフトデザイン分野（陶芸、金属工芸、木工など）の工芸家も活動しており窯元・工房も多数存在します。

このような地元作家や企業等が協力して「門司港ブランド」を構築するため、平成 24 年に「門司港クラフトデザイン協会」が設立されました。今後も協会と連携しながら門司区におけるクラフトデザインの普及・振興を図ります。新たな地域産業の育成を図ることを目的に、平成 24 年 4 月にオープンした「門司港デザインハウス」は令和 3 年にリニューアルオープンし、地域の作家たちの作品を常設展示することで、活動の発信をしています。

担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

■バナナの叩き売り関連事業

SDGs ゴール番号 11

門司港が発祥の地である「バナナの叩き売り」。この魅力ある伝承芸能をご紹介するとともに、世界のバナナの実物やバナナに関する様々な資料を展示する「門司港バナナ博物館」を開催するほか、日本遺産にも認定された「バナナの叩き売り」の保存と後継者育成のための「門司港バナナ塾」を開催しています。



◇令和 6 年度の予定

<門司港バナナ博物館>

旧門司税関で開催します。開館日には、門司港バナナの叩き売り連合会等のご協力により、叩き売りの実演をレトロ地区各所で行います。

<第 18 期門司港バナナ塾>

令和 6 年 6 月～10 月の期間に全 10 回開催します。

バナナの叩き売りの歴史についての講義や叩き売りの実技練習などを行います。

<門司港バナナ資料室（常設）>

関門海峡ミュージアムの 2 階にバナナに関する各種資料の展示を行っています。バナナ姫ルナの等身大パネルや、じーもとバナナマンの顔出しパネルなどもあり、記念撮影に最適の場所です。

担当：門司区役所総務企画課企画係にぎわい担当 TEL 331-2252

■まちづくりステップアップ事業

SDGs ゴール番号 11

市民主体のまちづくりを推進するため、市民が主体的に取り組む地域の特性を活かした活動や、地域の活性化につながる新たなまちづくり活動などに対して、経費の一部を補助します。

【対象団体】 市内に活動の拠点有する「非営利団体」

【補助金額】 1 団体あたり上限 30 万円（対象経費の 2 分の 1 以内）

※ 令和 6 年度の募集は終了しました

（令和 5 年度 まちづくりステップアップ事業 助成一覧）

◇門司港まちなかアートプロジェクト

◇Earth&Breath@大學堂

担当：門司区役所総務企画課企画係

TEL331-2252

■「思ひ出ステーション門司」運営事業

SDGs ゴール番号 11

門司の郷土資料や写真、かつて門司区内にあった旧・県立高校 4 校の制服や資料などの展示場所等として関門海峡ミュージアム海峡レトロ通り 2 階で「思ひ出ステーション門司」を運営しています。



担当：門司区役所総務企画課企画係 TEL 331-2252

問合せ先：思ひ出ステーション門司 TEL 342-9380

■ 関門海峡・温故知新塾

SDGs ゴール番号 4.11.17

関門連携事業の一環として平成 11 年度から毎年行われている事業です。北九州市民と下関市民が関門の歴史や文化・産業などを一緒に学ぶことにより、その意義や恩恵を再確認し、今後のまちづくりや両市民の一層の交流を図ることを目的にしています。令和 6 年度は 7 月～10 月までの全 4 回を予定しています。

担当：門司区役所コミュニティ支援課生涯学習係 TEL 331-1883

■ 映像制作誘致強化事業

SDGs ゴール番号 8.11

映画・テレビドラマなどの本市での撮影誘致に向けた首都圏におけるプロモートのほか、誘致作品を HP やロケ地マップなどの活用により PR することで、北九州市のイメージアップや、インバウンドの増加につなげるための取組を実施します。



和布刈公園第二展望台での撮影風景

担当：都市ブランド創造局 MICE・エンターテインメント課 TEL 551-8152

■ 「関門海峡」日本遺産連携事業

SDGs ゴール番号 11

平成 29 年 4 月、北九州・下関両市合同で申請した「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」が日本遺産に認定されました。両市と官民の協働で「関門海峡日本遺産協議会」を立ち上げ、イベントの開催や HP、SNS などを通して、関門地域の魅力発信や誘客等に取り組んでいます。

※ 「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

※ 「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」のうち、門司区の構成文化財 (20 件)

門司港駅 (旧門司駅) 本屋 旧 J R 九州本社ビル JP 門司港ビル (日本郵船門司支店) 北九州市旧大阪商船 旧門司三井倶楽部本館、附属屋 ホーム・リング商会 旧大連航路上屋 北九州銀行門司支店 (旧横浜正金銀行門司支店) 三宜楼 九州鉄道記念館 (旧九州鉄道本社) 門司区役所 (旧門司市役所) 旧門司税関 岩田家住宅主屋、土蔵 世界平和パゴダ ニッカウヰスキー(株)門司工場製造場 (旧大里酒精製造所 製造場) ニッカウヰスキー(株)門司工場倉庫 (旧大里製粉所 倉庫) 旧サッポロビール九州工場事務所棟、醸造棟、組合棟、倉庫 部埼灯台 関門隧道下り線 関門隧道上り線 バナナの叩き売り

担当：都市ブランド創造局文化企画課 TEL 582-2391